

## 持続的な成長に向けた取り組み

ホシザキグループは、日本および世界60カ国以上で製品を開発・製造・販売するメーカーとして、気候変動や食の安全衛生に対する意識の高まりといった社会のニーズに応じてきました。当社グループは今後も、社会の変化を成長の機会とすべく、ESGに対する取り組みを強化していきます。



### 省エネ性能を追求した製品の開発

#### 9年連続でENERGY STAR®アワードを受賞（米州）

ホシザキアメリカは、2020年4月、米国環境保護庁(EPA)の主催するENERGY STAR®※1アワード2020において、9年連続で「Partner of the year - Product Brand Owner」を受賞しています。これは、2019年販売のノンフロン冷媒(プロパン)採用の業務用冷蔵庫“Steelheart”シリーズによる年間約2.5万トン(21.0%減※2)の温室効果ガス排出削減と、省エネを追求した製氷機“KMEdge X”シリーズによる年間170万USドル相当(8.5%減※2)の消費電力削減が評価されたものです。

※1 米国エネルギー省および米環境保護庁(EPA)が1992年から推進する活動。機器のエネルギー効率を高め、CO<sub>2</sub>の排出を抑えることを目的とし、一定のエネルギー消費効率を満たす製品にエナジースターの認証が与えられ、製品にマークを貼付することが認められている。  
 ※2 自社推計値(当社従来製品比較)



ノンフロン業務用冷蔵庫  
“Steelheart”シリーズ(プロパン冷媒)



省エネを追求した製氷機  
“KMEdge X”シリーズ

### HACCP対応の支援

#### ソフトとハードでお客様をワンストップ・サポート（日本）

当社および国内販売会社では、お客様の生産性向上やフードロスの低減など、社会課題解決の貢献につながることから、HACCPの導入に向けた支援を積極的におこなっています。ソフト面では、約600名のHACCP関連有資格者を育成し、お客様の衛生診断、HACCP認証取得支援サポート、HACCPに基づく厨房設計の支援などをおこなっています。ハード面においても、電解水生成装置(次亜塩素酸水生成装置)、プラスチック&ショックフリーザー、真空包装機などの豊富な製品群を用意し、お客様をワンストップでサポートしています。



電解水生成装置



プラスチック&  
ショックフリーザー



真空包装機

環境

気候変動  
への対応

社会

食の  
安全衛生

### ノンフロン機器の拡充

#### プロパンやCO<sub>2</sub>を冷媒に採用した製氷機を導入（欧州）

ホシザキヨーロッパは、2020年1月にノンフロン冷媒(プロパン)を採用したクレセントアイス製氷機を発売しました。クレセントアイスは欧州のファーストフード店などで広く採用されています。

当社は、環境配慮型製品の導入推進をおこなうことで、温室効果ガス削減に貢献します。

さらに同年5月、欧州の大型スーパーマーケット向けに、CO<sub>2</sub>冷媒を採用したフレイクアイス製氷機の販売を開始しました。CO<sub>2</sub>冷媒とは、プロパンと同じノンフロン冷媒であり、地球温暖化係数が低く、環境負荷が少ない冷媒です。

今後も、ノンフロン冷媒採用機種を積極的に拡充し、環境負荷低減に貢献します。



ノンフロン製氷機  
(CO<sub>2</sub>冷媒)

### 衛生管理を意識した製品などの提供

#### タッチレスディスペンサ（米州）

ホシザキアメリカでは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、社会の衛生意識が高まる中で、省エネ製品のみならず衛生面に配慮した製品づくりにもつとめています。

その一例として、赤外線センサーにより、氷や水を抽出できるタッチレスディスペンサをかねてより販売していますが、それに加え、2020年は、従来のタッチ式のディスペンサを、タッチレス式に変えるキットを発売しました。本製品や本キットは、衛生面に対する配慮が重要となるナースステーション、ロビー、休憩室、カフェテリアなどへの導入を推進し、感染症などのリスク低減につながる安全な環境整備に貢献しています。



従来のボタン式から  
赤外線センサーに  
変更できるキットを発売。  
現場での交換も可能。

タッチレスディスペンサ